

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 埼玉森林管理事務所
所在地	埼玉県 秩父市
面積	2,145.46ha
設定年	1948(S23)年
保護林の概要 (設定目的)	ブナ、カンバ類、カエデ類等の広葉樹やコメツガ、シラビソ等の針葉樹等から構成される多様な森林植生を有しており、自然状態が良く保たれた太平洋気候区の典型的な森林である。このため、亜高山帯針葉樹を主体とした地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2011年、2016年、2021年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、動物調査等
調査手法	森林詳細調査として、シラビソ群落、コメツガ群落、オオシラビソ群落、ブナ群落の生育地において調査プロットを計8箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に1つの調査ルートを設定し、保護林内における出現種を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	森林調査について、植生調査による低木層及び草本層の植被率が全てのプロットで減少傾向にあり、ニホンジカによる採食圧が高くなっていると考えられる。主な保護対象種であるコメツガやオオシラビソ、シラビソ等は、ニホンジカによる剥皮害が散見されるものの、現在生育している立木については概ね健全に生育していた。